

## ▼アイクルシグ錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ポナチニブ塩酸塩 ponatinib hydrochloride 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [TKI]

【単位】 ▼15mg/錠

【常用量】 45mg/日 [適宜減量]

【用法】 1日1回

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 腎機能はPKに影響しない (1)

【特徴】 前治療薬に抵抗性又は不耐容の CML, 再発又は難治性のフィラデルフィア染色体陽性 ALL に適用されるチロシンキナーゼ阻害薬。変異型 BCR-ABL チロシンキナーゼに対する阻害活性を有するように設計されている。

【主な副作用・毒性】 冠動脈疾患 [心筋梗塞, 狭心症, ACS など], 脳血管障害, PAD, 静脈血栓症, 高血圧, 肝機能障害, 膵炎, 感染症, 皮膚障害, 出血, 不整脈, TLS, 頭痛, 傾眠, うつ症状, めまい, 視力障害, 呼吸困難, 腹痛, 腎不全, 筋肉痛, 血清電解質異常など多数

【安全性に関する情報】 Grade 3 以上の心不全が発現した場合は直ちに本剤を投与中止 (1)

【吸収】 食事の影響を受けない (Narasimhan NI, et al: J Clin Pharm Ther 38: 440-4, 2013 PMID: 23888935)

【F】 資料なし (1) おそらく小さい (5)

【tmax】 4~5hr (1)

【代謝】 主に CYP3A4 で代謝 (1) 消化管のエステラーゼ/アミダーゼにより加水分解を受け血漿中主要代謝物である AP24600 が生成 (1)

【排泄】 尿中回収率 5.4% [po, 336hr まで] (1) 糞便中に 86.6%回収 (1) P-gp, BCRP の基質ではない (1)

【CL/F】 28L/hr (1)

【t1/2】 35hr (1)

【蛋白結合率】 99.9%以上 (1)

【Vd/F】 1481±1395L/man (1)

【MW】 569.02

【透析性】 資料なし (1) 除去されないと思われる (5)

【O/W 係数】 資料なし (1)

【相互作用】 P-gp, BCRP を阻害 (1) 血中濃度は CYP3A4 阻害剤により上昇, 誘導剤により低下 (1) CYP3A4 阻害剤使用時は 30mg/日で開始を考慮 (Narasimhan NI, et al: J Clin Pharmacol 53: 974-81, 2013 PMID: 23801357) PPI 併用により Cmax が有意に低下するが用量調節の必要はない (Narasimhan NI, et al: Clin Drug Investig 34: 723-9, 2014 PMID: 25145453) リファンピシム併用により AUC が低下するので併用は避ける (Narasimhan NI, et al: Clin Pharmacol Drug Dev 4: 354-60, 2015 PMID: 27137144)

【肝障害患者への投与方法】 肝機能障害を発現することがあるため慎重投与 (1) 減量の必要はないが注意して観察 (Narasimhan NI, et al: Cancer Chemother Pharmacol 74: 341-8, 2014 PMID: 24934866)

【小児 CKD 患者における報告】 安全性未確立 (1)

【妊婦・授乳婦への投薬】 妊婦に禁忌, 授乳中止 (1)

【更新日】 20190611

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。